

【保育所だよりに添えた園長からの手紙】

大変にお世話になっております。院内保育で勤務しています村越です。

「瀆砂、つぶやきます」毎回、楽しみに読ませていただいています。

私にとって、とても学習になっています。

ありがとうございます。

【院長からの返信】

お手紙いただきまして、ありがとうございます

毎週水曜日の朝会でお話ししているのですが、ちゃんと話さねばと思い、自分なりに調べて、作文して、暗記して、お話ししています。

駄文ではありますが、せっかく書いているので、朝会に参加されていない方にも読んでいただこうと勝手に始めだしたものであります。

自分自身が思っていることを正直に伝えたい、で、少しでも皆さんが何かを感じ取っていただければと思いがらやっています。

院長職をしながら、オーケストラの指揮者みたいだな、とか思います。観客に背を向けて、自分自身は何の音も出すわけではなく、演奏する人達が気持ちよく良い音を出せるような環境を作る。

私の仕事は「皆さんが楽しく誇りを持って仕事ができる環境を整えること」と思っています。そしたら皆さんがとても良い音を出して、患者さんにも喜んでいただける、と思っています。

でも、一生懸命指揮棒を振っているつもりでも、誰もそんなもの見ていないかも、とか不安になることもあります。

そんな中で、今日のお手紙をいただきました。

ここにも見ていただけている人がいた！

すごくうれしくなってお手紙書いている次第です。

そして、保育園の仕事。病院という組織からすれば、患者さんと直接接するわけではない裏方の仕事です。でも、その土台があるおかげでみんなが良い音を出してくれているのですね。

改めて、ありがとうございます。

今後ともよろしくお願いいたします。

長文になってしまった一。

【園長の返信】

お返事ありがとうございます。とっても、とっても嬉しいです。

実は、1か月前頃から、院内メールにコメントをして良いものなのか…ずーずーずーと、迷っていました。

院内保育という立場は、保育事業の中でも、とっても難しい立場に感じています。

私自身、私の思い、信念？みたいなもので、突っ走ってきましたが、学ぶうちに凹むことばかりで…。

ただ、働き続けてこられたのは、上司の方々、組合の方々、友の会の方々、地域の方々に支えられたから、頑張れたのだと思っています。

そして、今は全日本民医連の保育世話人を経験させていただき、ここでも突っ走って、勝手に挫折し、葛藤しながら、少しずつ学んでいるところです。やってきたことが、本当に正しかったのか？迷いもあります。

ただ、今、ここにいる子ども達、その保護者の方々、そして保育園の職員の方々にとって、より良い環境を作る

こと、楽しい職場を(保育園なので笑いの多い職場)作っていただけらと思っています。

私こそ、長い長文になってしまいました。

実は、保育園だよりと一緒にお渡ししようとしたお手紙は、別にありました。(かなりの長文なので、)

院長先生と、このようになかなか院内メールでのやり取りは、とても申し訳なく思いますので、この機会に、もとの長文のお手紙を添付させていただきます。

【園長からの手紙】

私ごとですが、今年に入って、都内で一人暮らしをしている叔母が体調を崩し救急車で運ばれることが2度ほどありました。2度目は、携帯の充電が切れてしまった状態で、2日間ほど動けずにいて脱水を起こしていました。叔母は古くからお付き合いのあるご近所の方々に、私の連絡先と家の鍵の場所を教えてあったこともあり、ご近所の方と地域包括支援センターの方々に助けていただくことができました。入院中は病院の方々に、退院後の相談をさせていただき、現在はケアマネさん、訪問看護師さん、介護士さんにお世話になりながら元気にしています。生きることは、生きる気力、人と携わる大切さをつくづく学びました。

あと何日間か気づかずにいたら、私は今こうしていられなかった…と思います。

このことを、自分自身に置き換えた場合、私は鍵を預けたり、身内の連絡先を教えられる近所の方がいるのだろうか？と考えさせられました。

話は変わってしまいますが、保育の現場も大変難しくなっていると感じます。昔は子だくさんの家庭の多い時代もあり、現在は、少子化の社会になり、「子ども中心」の考えが広がっているにもかかわらず、子ども達が生きづらさを感じている世の中になっていて…。そして、保育士としての仕事も昔と違って、夢のある仕事と考えられなくなっているように感じます。

保育の現場では、保育士の労働環境を良くしようと、処遇改善やICT化が進められています。処遇改善は、保育士の地位や質を上げるためにも大切なことと感じますが、ICTに関しては、ある程度の利用は便利で良いと思っています。しかし、それだけでは改善が難しいと思っています。保育は、人が人を育てる営みとして、保育士自身が豊かな心を大切にすることが原点と感じています。

世の中が色々と便利になってきている一方で、失われているがあるのでは…と、モヤモヤと感じています。私自身も、便利になった世の中で生きながら、自分自身がこの波に乗って、欠けていってしまうものがあるのではと…自問自答することがあります。

病院内の保育ということもあり、保育の現場として難しい立場ではありますが、少しでも縁の下での力持ちになればと思っています。しかし少子化の影響などもあり、複雑な気持ちでいます。でも、今は、今いる子ども達、保育園職員が楽しくられる場所を作っていきたいと思っています。医療の現場を支えられる院内保育として、何ができるのか…時々考える時もあるのですが、なかなか、新しいチャレンジをすることや、一步踏み出す勇気が持てず…現状維持で良いかな…と思ってしまう事が度々…「院長先生のつぶやき」で、自問自答しながら、頑張る勇気をいただいています。

ありがとうございます。医療のことは難しく、理解できないことも多いのですが、「院長先生のつぶやき」は、私にとって、とても学習になります。

院長先生、毎日暑い日が続きますし、お忙しいと思いますので、お身体をご自愛くださいませ。

私のつぶやきになってしまいましたが、勇気を出してお手紙を書かせていただきました。長々と大変失礼いたしました。